

使えすぎる

いつでも、誰でも、何にでも!

テラス空きスペース活用術

金持テラスひの NEWS

金持テラスひのでは、空きスペースをさまざまなイベントで利用できます。行事やイベントなど、金持テラスひのをぜひ活用ください。なお、利用方法などは気軽にご相談ください。



ここは美術館?それともイベント会場?

広大なスペースは使い勝手よし!

「宝くじ売り場」「縁起物・特産品・農産物売場」「レンタルキッチン」のあるにぎわいゾーンには、ほかに広い空きスペースがあり、随時イベントや展示会などに活用できます。これまでも日野高ショッピングや交流会の会場として利用されているほか、今後も同施設で町文化展(6月29日~7月1日)が開かれるなど、地域の交流の場として活用されています。

皆さんの意見をお寄せください

町では、金持テラスひのがより多くの皆さんに利用され、愛される施設となるよう、皆さんからのご意見・ご要望を受け付けています。施設内に提案箱を設置していますので、多数のご意見・ご要望をお寄せください。

一こちらでも受け付けています。

▼金持テラスひの 担当 実繁(さねしげ)

電話 0859-70-1730

E-mail kamochoi-terace@sea.chukai.ne.jp

▼役場企画政策課 担当 三好

電話 0859-72-0332

E-mail kikaku@town.hino.tottori.jp

＜使用例＞ 展示イベント、販売イベントなど

＜使用時間＞ 原則として、午前10時~午後4時

＜注意事項＞ 使用にあたっては以下のことにご注意ください。

①火器は使用できません。

②騒音、振動が出るイベントはご遠慮ください。

③町外在住者の使用や販売目的のイベント、入場料を徴収するイベントは使用料が発生します。

④レンタルキッチンの使用は別途ご相談ください。

テラスラインナップ

山陰合同銀行根雨支店

営業時間 午前9時~午後3時(土日祝日、年末年始除く) ※キャッシュ

コーナー: 午前8時~午後9時

問合せ先 山陰合同銀行根雨支店

(電話72-0301)

コインランドリー

洗濯乾燥機2台(中型・大型各1台)、

乾燥機8台(14kg6台、25kg2台)

営業時間 年中無休、

午前6時~午後10時

問合せ先 広島ガス住設株式会社

根雨営業所(電話72-0155)



さくらホール日野

葬儀や法要などのほか、葬儀相談も受け付けています。

問合せ先 さくらホール日野

(電話72-6611)



宝くじ売り場、縁起物・特産品・農産物売場、レンタルキッチン

営業時間 年中無休、午前10時~午後4時

問合せ先 一般社団法人日野町観光協会・金持テラスひの(電話70-1730)



山への感謝、思いを胸に山頂へ

宝仏山登山道開き&リレーで「山の日」記念全国大会をPR



「豊かな自然を楽しんでほしい」と埴田町長

登山シーズン到来を告げる、宝仏山（標高1005m）の登山道開き（ごうぎんすぎの子会主催）が、4月29日、登山道入り口の町歴史民俗資料館前で開かれました。

同会では、4月17日に登山道整備を行い、積雪などで倒れた木を取り除いたり、生い茂った草を刈るなど、登山客を迎える準備をし

てきました。また、山の安全を祈願する神事の後は、「山鐘」リレーイベントが行われました。これは、8月10日と11日に鳥取県で開かれる、「山の日」記念全国大会をPRするため、大会のシンボルである山鐘を県内全ての市町村でリレーしようというもの。

同イベントでは、埴田町長から三朝町の代表者へ山鐘と木づちの「バトン」が手渡されたほか、登山客に「山へのメッセージ」を募るコーナーも設置。登山客らは、用意されたのぼり旗へそれぞれの思いを書き込んでいました。なお、集まったメッセージは、「山の日」記念全国大会の会場で展示されるとのこと。

高校の存続・魅力アップへの一助となるか

日野高校双葉寮が再開



内仲弘校長から入寮許可書が手渡される

平成24年から休寮していた、日野高校の双葉寮が再開するのに合わせ、5月7日、同寮で開寮式が行われました。

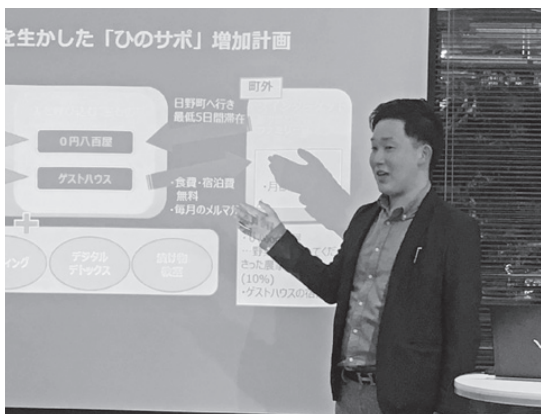
開寮式には、入寮する同校の生徒3人と関係者らが出席し、寮の再スタートを祝いました。

再開にあたっては、同校の魅力化・特色化を推進するため、総合進学系列を希望する生徒が学習するための施設とされています。

双葉寮の再開が、今後、高校の魅力アップの一翼を担っていくことが期待されています。

日野町発！地方創生に必要なこと

東京で日野町の魅力化を提案



地域資源を生かしたビジネスプランを提案

3月12日、東京にあるビジネス交流場「3x3Lab Future」で、大學生が中心となった地方創生の会が開かれ、東京富士大学の學生が「日野町魅力化プロジェクト」について発表を行いました。

同プロジェクトでは、若者目線で過疎化の進む町のPR方法を探ろうと、昨年の8月に日野町で大学生らがホームステイを行っています。

当日は、同大学4年の中山彰都さんが、「まちのサポーター」を増やし、活性化につなげる『ひのサポ』増加計画』を提案。参加者の関心を集めていました。